

平成29年度第2回（経営学・経済学・会計学・心理学・数学）グループ合同会議議事概要  
（経営学・経済学・会計学・心理学）教育FD/ICT活用研究委員会  
CCC数学グループ運営委員会

- I. 日 時 : 平成29年10月15日（日）13:30~15:30
- II. 場 所 : グランドヒル市ヶ谷 ペガサス
- III. 出席者 : 経営学教育FD/ICT活用研究委員会 岩井委員、青木委員、宮林委員  
経済学教育FD/ICT活用研究委員会 林委員長、碓井委員、渡邊委員、児島委員、山田委員、  
山崎委員  
会計学教育FD/ICT活用研究委員会 岸田委員長、松本委員、金川委員、福浦委員  
心理学教育FD/ICT活用研究委員会 木村委員長、横山委員、片受委員  
CCC数学グループ運営委員会 井川委員、白田委員、山本委員、平野委員、山崎委員  
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

#### IV. 議事概要

##### 1. 開催要項の確定

前回(第1回合同会議)の議事内容を確認したのち経済学の林委員長の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容の検討を行った。各分野から報告された話題提供案について協議し、また意見交流のテーマ内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い以下のとおり決定した。

##### (1). 話題提供の内容説明、協議と決定事項

###### ① 経営学分野

- ・地域と連携し現実の課題について議論することで知識・技能の深化、論理的、創造的思考力を養成する授業改善提案であることを確認した。

(話題提供者) 雑賀 憲彦 氏 (名城大学 都市情報学部教授)

(タイトル) 「地元企業と連携した問題解決型アクティブ・ラーニングの提案」

(提案内容) 問題解決型のPBLを実質化するため、ICTを活用した学生と地元企業・自治体関係者による学びのチームを構成して、多面的な企業が抱える現実の課題をテーマにして議論することにより知識・技能の深化、論理的、創造的思考力を養成する授業の提案。

###### ② 経済学分野

- ・多分野の専門家や有識者の参加によるフォーラム型授業を行うことで、幅広い授業改善の提案を行う内容であることを確認した。

(話題提供者) 山崎 好裕 氏 (福岡大学 経済学部教授)

(タイトル) 「大規模授業で学生が主体性を持ち、協働して学ぶ授業の提案」

(提案内容) 主体的に現実社会の課題を学ぶことができるように、学修支援システムやネットを活用、多様な人々と協働して学ぶ授業の取り組み事例を踏まえて、多分野の専門家や有識者の参加によるフォーラム型授業についての提案。

###### ③ 会計学分野

- ・決算書を題材に学修支援システムを用い問題発見・解決に結びつける授業改善モデルの提案内容であることを確認した。

(話題提供者) 岸田 賢次 氏 (名古屋学院大学 名誉教授)

(タイトル) 「会計情報を体系的に把握し、問題発見・解決に結びつけるアクティブ・ラーニングの提案」

(提案内容) 会計情報を関連づけて体系的に把握するため、決算書を題材に問題を発見し、解決策を検討できるようにする学修支援システムを用いた授業改善モデルの提案。

#### ④ 心理学分野

・多分野及び他領域科目と連携し提案問題解決を目指す授業改善モデルの提案であることを確認した。

(話題提供者) 横山 恭子 氏 (上智大学 総合人間科学部教授)

(タイトル) 「心理学的理論や手法を社会に応用できるアクティブ・ラーニングの提案」

(提案内容) 関連科目間及び他領域の科目と連携した学びの統合化を図ることで、心理学的な手法を用いて科学的に問題を整理・分析し、問題解決に向けて発想する訓練を目指す授業改善モデルの提案。

#### ⑤ 数学分野

・経済現象の問題を具体化し、学修支援システムを用いて主体的に学ぶ授業改善モデルの提案であることを確認した。

(話題提供者) 井川 信子 氏 (流通経済大学 法学部教授)

山本 修一 氏 (日本大学 特任教授)

(タイトル) 「社会現象を数学的に捉え表現する授業改善モデルの提案」

(提案内容) 数理的な技能、表現を身につけるために、学修支援システムを用いて経済現象の問題を具体化し、主体的に学ぶことを可能にする授業改善モデルの提案。

#### (2) 意見交流について

意見交流のテーマを以下の3項目に決定するとともに、対話集会当日の役割分担を決定した。参加申込者へのアンケートにおける質問項目について協議を行ない、今回の対話集会ではアンケート結果を活かし参加者との積極的な意見交流や、認識の共有を目指すことなど開催要項の詳細を決定した。なお、委員は対話集会における具体的な進め方(シナリオ)を検討する。

- ① 「学力の3要素」を高める ICT を活用した教育・学修方法の工夫・改善
- ② 授業科目の相互改善を促進するための仕組みと ICT 活用
- ③ ICT による外部評価モデルの必要性と仕組み

#### (3) 開催日時と場所

開催日時：平成29年12月9日(土) 14:00~17:30

開催場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎

#### V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回是对話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。